北海道
東川町
－写真の町－
写真文化首都

ひがしかわ 議会だより

アニワ市との姉妹提携調印式

第３回定例会を開催……２～６
監査委員の審査報告……７
ここが聞きたい！一般質問に６議員が登壇……８～13
議案審議結果……14～15
町民と議会の意見交換会……16～19
議会日誌……20

No.183
令和元年11月1日発行
発行：東川町議会
編集：議会報編集特別委員会
〒071-1492 北海道上川郡東川町東町１丁目
☎0166-82-2111

平成30年度92億円の決算を認定

9月10日、平成30年度一般会計他2特別会計決算について、市川副町長の説明・安井代表監査委員の報告を受けました。
2常任委員会に分かれて、11・12日に、各課から説明を受けました。
13日の本会議では、3会計の決算を、全会一致で認定しました。

一般会計

当初予算79億9000万円に、11回の増額補正を行い、最終予算額は94億5115万円です。
歳入決算額93億7113万円に対し、歳出91億8100万円を差し引いた実質収支額は、1億9013万円となりました。
29年度の実質収支2億6043万円と比較すると7030万円の減です。
※財政調整基金へ2370万円積み立てを行い、取り崩しはしていません。
実質単年度収支は4660万円の減です。

※財政調整基金
財源不足に備えるため、決算剰余金などを積み立て、財源が不足する年度に活用する目的の基金です。

歳入

町税は、過去最高の9億3294万円で、昨年より1131万円の増です。
普通交付税は、公債費、※起債償還補てんなどにより、4056万円の増です。
特別交付税は、災害復旧事業のほか、文化財保存活用、明治150年事業など、積極的な事業展開により、1億8772万円と大幅に伸びています。
町立日本語学校の校納金で1400万円の増です。
町債は、4億6906万円減って、12億円の起債借り入れです。

市川副町長

※起債償還補てん
起債（町の借金）を、国も一部負担してくれます。

歳出

公債費（借金返済）は、7400万円ほど償還で増えています。
※義務的経費全体では、8700万円ほど増です。
物件費は、3億700万円の増です。
投資的経費は、せんとぴゅあⅡの完成で減、スキー場のリフト新設の増、差し引き8億8600万円ほど減額です。

※義務的経費
人件費、扶助費、交際費からなる。

基金の状況

3月末で、21億4730万円、※出納整理期間中の積立を含めて、23億1905万円です。
※土地開発基金の積立を含めると、24億4360万円で、1億6744万円の増えています。

※出納整理期間
確定した歳入・歳出で未収未払の現金出納を、翌会計年度の4月1日から、5月31日まで行います。

※土地開発基金
土地購入資金の積立です。

公共下水道特別会計

歳出総額は、2億704万円で、1056万円の増です。
使用料収入は、1億883万円で、国の補助金は2668万円です。
一般会計からの繰入金は、3636万円です。

町立診療所特別会計

診療収入は、2億3308万円で、1139万円の増です。
入院は、1178万円の増です。
へき地直診調整交付金9413万円が交付され、一般会計からの繰入金は、8919万円です。

表１ 一般会計・特別会計歳入歳出決算の状況

（単位：千円）

会計別	歳入	歳出	残高
1. 一般会計	9,371,136	9,181,003	190,133
2. 公共下水道事業特別会計	220,782	207,041	13,741
3. 東川町立診療所特別会計	464,046	422,578	41,468
合計	10,055,964	9,810,622	245,342
前年度	10,570,952	10,227,402	343,550
比較増減額	△ 514,988	△ 416,780	△ 98,208

単位：千円

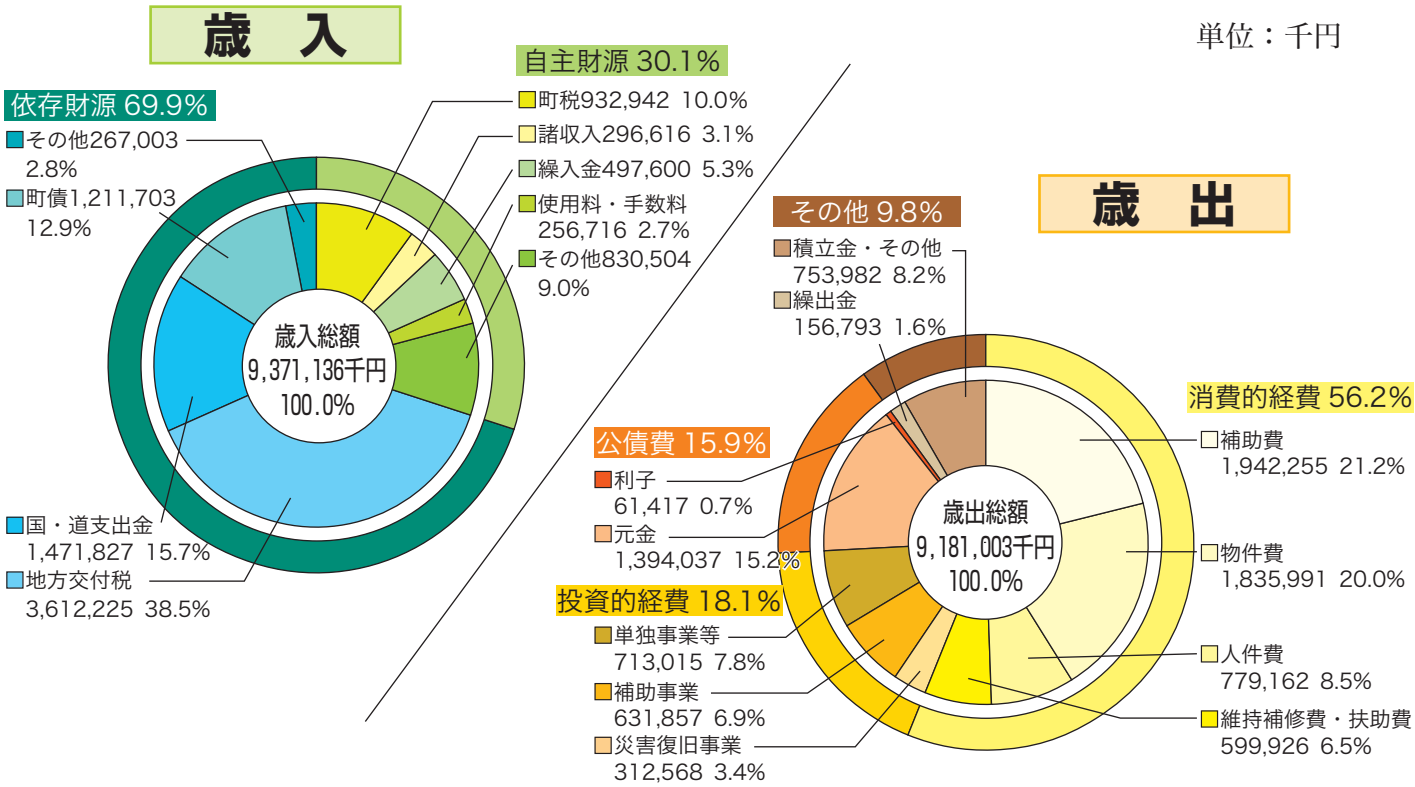

表２ 自主財源の年度別比較

（単位：千円・％）

区分＼年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
町税	856,772	880,658	892,932	921,631	932,942
分担金及び負担金	41,952	37,822	37,379	34,230	33,625
使用料及び手数料	145,094	157,941	210,623	237,871	256,716
財産収入	31,913	26,187	48,375	67,964	34,270
寄附金	29,973	113,256	184,493	504,722	463,879
繰入金	303,036	165,728	497,275	798,774	497,600
繰越金	486,077	129,627	161,226	182,202	298,730
諸収入	268,443	222,477	242,113	241,229	290,616
計	25.98	23.09	26.78	30.16	30.07
	2,163,260	1,733,696	2,274,416	2,988,623	2,808,378
不動産売払収入を除いた計	25.91	23.06	26.59	30.05	30.05
	2,157,429	1,731,660	2,258,260	2,977,580	2,806,311
歳入決算額	8,326,862	7,507,902	8,494,282	9,907,752	9,371,136

第３回　定例会を開催

- 第３回定例会を、令和元年９月10～13日に開催しました。
- ６名の議員が、一般質問をしました。
- 平成30年度一般会計・２特別会計の決算を認定しました。
- 平成30年度一般会計補正予算案・条例案・人事案件・報告などについて審議し、原案可決または承認済・報告済としました。

第3回定例会

一般会計補正　第4号

６６９０万円増額し、総額は90億３０万円で、主なものは次の通りです。

歳入

森林環境譲与税は、私有林人工林面積、林業就業者数、人口を基準に譲与されるもので７４５万円を計上しています。

国庫支出金は、幼児教育・保育無償化に伴う幼児センター預かり保育の影響分、幼児センター以外の教育・保育施設に通園する幼児の無償化影響分１３５万円です。

国庫補助金、地方創生推進交付金は、「北海道の自然・食・文化を活かしたコンテンツ創出及び外国人活躍事業」の事業費の50％です。

プレミアム付商品券事業費補助金は、消費税増税対策でプレミアム分全額１１４０万円です。

道支出金、児童福祉費負担金、子育てのための施設等利用給付費負担金は、幼児教育・保育無償化に伴う、道負担金25％です。

道補助金、地域づくり総合交付金は、旭岳地区冬季体験イベント分と、ハザードマップとしおり型防災マップ作成分３４２万円です。

民生費道補助金、子育て支援交付金は、預かり保育分、子ども子育て支援事業費補助金は、無償化システム改修費１１１６万円です。

臨時財政対策債は、交付税が多く配分され、臨時財政対策債が減じられたことから３５９６万円減額です。

歳出

①災害対策・防災対策事業　（１９０万円）

ハザードマップとしおり型の防災マップを作成します。

②ひがしかわ株主事業　（２５０万円）

竹内智香氏と連携して「スノーボードキッズ育成プロジェクト」を設定して株主投資を募り、竹内さんを中心とする「スノーボード選手育成組織」が行う事業に対し、株主基金から繰入れて交付するものです。

Q（山家祥幸議員）
開催となると、主体はどこですか。

A（東川スタイル課長）
事業主体は、竹内智香さんが代表を務める組織です。

③留学生支援事業　（１０５２万円）

旭川福祉専門学校の留学生が当初より増える見込みから日本語研修奨学金を増額します。

Q（鶴間松彦議員）
①北工学園の留学生が入管でストップされたと聞きましたがどのような状況ですか。
②現地事務所は在るが関係は。

A（市川副町長）
①50数名申請し20数名が通過できなかったと聴いています。
②基本的には事務所の方でもある程度の書類の整理、周知しています。
審査の状況を確認した上で、再度徹底をしながら今後進めていきます。

④せんとぴゅあⅡ管理運営事業　（３７３万円）

開館時間の延長を継続実施することから、臨時職員賃金と夜間警備費用を増額するものです。

Q（鈴木哉美議員）
開館時間についてのアンケート調査の集計で意見の件数と傾向は。

A（文化レクレーション課長）
回答件数は83件で、

定例会

開館時間を早めて欲しいが約30件で、午前9時からが多いです。
18時までが約20件で21時までが約30件です。

⑤北海道の自然・食・文化を活かしたコンテンツ創出及び外国人活躍事業
（1500万円）
北海道・東川町・美瑛町・上川町と協働して行うインバウンドの観光振興事業で、北海道が事業主体となり、町に立地しているアグリテックや大雪山自然学校、観光協会が行う予定です。

⑥介護・訓練等給付事業
（1009万円）
平成30年度分の障害者自立支援給付費道負担金などを、実績により返還します。

⑦児童福祉対策事業
（580万円）
幼児教育・保育の無償化に伴うシステム改修委託料です。

⑧プレミアム商品券事業
（1140万円）
消費税増税対策です。

プレミアム商品券

⑨強い農業・担い手づくり総合支援事業
（1068万円）
地域農業の担い手である6経営体でホイルローダー、農薬散布用ドローン、田植え機を導入する補助金です。

⑩旭岳ビジターセンター及び無料休憩舎管理運営事業
（410万円）
ビジターセンター前の駐車場に除雪して雪山を作り、国内外の観光客向けに冬季体験イベントを行うもので、雪崩事故防止や遭難救助訓練などを行う事業です。

⑪キャンモアスキー場リフト大規模改修事業
（492万円）
発注し作業を進めているが、新たな不具合が見つかり修繕を行います。

Q（畑中雅晴議員）
工事の内容は。
A（産業振興課長）
クワットリフトのロープ張り替えと山頂場内の索輪の摩耗修繕・取換、山麓場内の水平索輪の摩耗修繕・原動滑車軸の部品改修・送電時のクラッチ改修です。
Q（山家祥幸議員）
有線の配線を同時に施工しませんか。
A（産業振興課長）
振興公社から要望がない状況で、改めて検討します。

⑫子育てのための施設等利用給付事業
（234万円）
幼児教育・保育無償化に伴い、幼児センター以外の教育・保育施設に通園する幼児の扶助費です。

⑬土地取得事業
（419万円）
南町2丁目㈱レッツ跡地1452坪が競売物件となり、土地開発基金で購入しましたが、一部452坪を隣接する㈲樹工房に売却しました。

下水道会計補正第2号

増額なしで、総額は1億8430万円です。
30年度決算確定に伴い繰越金を増額、一般会計繰入金を減額します。

診療所会計補正第1号

99万円を増額し、総額は4億5349万円です。
30年度決算確定に伴い繰越金を増額、一般会計繰入金を減額します。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員
固定資産評価審査委員に宇佐見昇氏を再任命することに同意しました。

教育委員会教育長
教育長に杉山昌次氏を任命することに同意しました。

杉山昌次氏

教育委員会委員
教育委員に荒井一洋氏を再任命することに同意しました。

選挙管理委員等の選挙
選挙管理委員及び補充委員を選出しました。

定例会

①選挙管理委員
澤田久美子、坂井直志、岩田和子、西川宗孝
②補充員
粟飯原順二、大城進、平田久美子、和田佳子

住居表示を実施すべき区域及び当該区域の住居表示の方法

東川町西10号北31番地から西10号北40番地まで、西10号北42番地の区域。

姉妹都市提携

ロシア連邦サハリン州アニワ市との姉妹都市提携に同意しました。

条例改正

印鑑の登録及び証明に関する条例
ひがしかわ株主条例

Q（鶴間松彦議員）
起業化支援の想定されている事業は。

A（東川スタイル課長）
具体的な事業は想定していません。

家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例
幼児センター条例

Q（鈴木哉美議員）
副食費は無償ですが、周辺町との差はありますか。

A（子ども未来課長）
各町の取り扱いは、ばらばらです。
町外の施設を利用する方には、補助金を出しています。

専決処分の報告

北７線道路改良工事
１・２工区
１工区
道路南側１１５ｍ区間にＵ－２４０型トラフ敷設と北側90ｍ区間にＵ－１８０型トラフ敷設
２工区
道路南側と北側の法面に現地の草付きすきとり土を活用し、２９００㎡の植生工と区間中央部に８００φの鉄筋コンクリート高圧管を取替

Q（薦田敏次議員）
排水溝のＵ－１８０で流量は大丈夫か。

高圧管のφ８００の流量差額は。

A（都市建設課長）
Ｕ－１８０でも流量的には問題ない。
高圧管の８００φは、後程資料などを配布します。

Q（畑中雅晴議員）
後で不都合が出た場合、有利な起債を使えるか。

A（都市建設課長）
辺地債の対象に十分なり得ると考えています。

北７線道路Ｕ型水路敷設

監査委員の意見

監査委員の意見　平成30年度

安井代表監査委員

●一般会計決算

補助事業では、写真文化首都創生館整備の大型事業が完了により、12億2494万円の減額です。

単独事業では、キャンモアスキー場ペアリフト新設事業などにより、1億6100万円増額となりました。

災害復旧事業も含めた投資的経費は、8億8633万円の減額となりました。

物件費と補助費などで4億4794万円の増加となりました。

施設整備及び補助費などは、国や道などの政策的な補助金や交付金を活用した事業に積極的に取り組んでいることから、決算額は対前年4億2801万円減となっている。

消費的経費や公債費のウエイトが年々増加しており、今後も増加が見込まれることから、経常的経費を極力抑制するなど、財政健全化により一層の努力が望まれます。

●公共下水道事業特別会計決算

収入未済額は前年度多額の不納欠損処理を行っており、30年度は12万円になりました。

分担金の収入未済額0円、滞納繰越分0円で、収納率100％となりました。

受益者負担の視点に立ち納入義務者への啓発と収納率向上に努力を望みます。

●診療所特別会計決算

入院・外来の患者が伸びたことで、1139万円の増額となりました。

本格稼働したリハビリテーション科の治療器の充実による機能強化などで増加しています。

授乳スペースの設置、感染予防対策や院内受診環境の整備などの充実により、患者の満足度が向上した効果だと思われます。

地域医療施設として、利用者ニーズの把握により、患者数と収入の増加に一層の努力を望みます。

●土地開発基金運用状況

運用は設置目的に沿って正規な手続きに従って行われたものと認めました。

議会改革特別委員会

◎調査日

令和元年7月25・26日

◎調査場所

芽室町議会
幕別町議会

◎調査事項

議会改革の取り組みについて

◎調査の意見

議会基本条例については、前回（平成27年）の協議結果で継続審議としているが、議会の責任として不可欠と考え、検討を進め方向性を定めるべきとした。

議会で取り組んでいる町民との意見交換会の改善や新たな取り組みを検討すべきである。

両町議会は、本委員会で検討事項となっている、議会基本条例、タブレット端末の導入、インターネット中継、議会研修会など様々な取り組みをしており、参考になりました。

特別委員会では、令和2年3月までの期間で検討を進めており、両町などと比較検証し、費用対効果を考え、改革・改善に取り組む必要があると考えます。

幕別町議会視察

一般質問 ここが聞きたい

（６議員が登壇）

問 子ども・子育て支援は
答 アンケートの声を反映させる

飯塚　達央

（一問一答方式）

質問　7月に子育て世代を対象に実施した「東川町子ども・子育て支援事業計画」策定のためのアンケートの集約結果は。

町長　保護者世帯508件に出し、344件、67％の回答を得ています。

質問　アンケートの中に「子育て環境の充実のために必要なことは」という自由回答の欄があります。我が子を安心して預けられないという声を多く聞いており、そこにも厳しい意見が書かれてあったと思うのですが、町長はその全てに目を通して状況を把握されましたか。

町長　厳しい意見の一方、子育てに対する感謝の意見も頂きました。

保護者との間では頻繁に意志の疎通が行われていると理解しています。

質問　幼児センターの離職が続き、先生の数が足らないのは、風通しの良くない職場環境のせいという意見も耳にします。

町長　保育士の確保はどの町も抱える問題です。

4月には給与を見直しています。

開設当時から比べて職員の数は増え、柔軟に対応できるような体制になっているにもかかわらず、そのような評価になる原因は、しっかり調べます。

質問　今の幼児センターには幼児期の伸びやかさや、親の感じる大変さ、不安を受け入れる寛容性が少ないと指摘されています。

人手不足で、とかく効率的に管理下において子どもを預かっているという印象が見受けられます。

町長　子育てをする親同士が横の連携を取れる体制と、保育士と保護者の連携をしっかり取れる体制を作ることが大切だと考えます。

質問　このアンケートを今後どのように活かしていきますか。

町長　アンケートで指摘されたことや、園が自ら反省しているところも含め、しっかり見直していく必要があると考えています。

質問　無記名のアンケートなので記入者への回答はできませんが、内容を公開する予定はありますか。

職員間で回答を共有されますか。

共有されないと問題が閉鎖的になって、封じ込められるのでは。

町長　アンケートは来春の子ども子育て支援事業計画の策定に使うので、公開することはありませんが、保育士への共有は検討します。

質問　来年から東川町が安心して子どもを育てられる環境に向けて改善されていくことでよいですか。

町長　アンケートを取るのは、しっかりと声を反映させるためです。

4月以降、変わっていなければ、指摘をいただければと思います。

幼児センター（ももんがの家）

一般質問

問 読書活動推進計画策定を

答 年度内の策定を目指す

鈴木　哉美

質問

旭川市と周辺8町の中で「読書活動推進計画」を策定してないのは東川町だけです。

策定にあたっては、司書、学校司書、司書教諭、読み聞かせボランティア団体などの町民らが参画できる場が必要ですが、策定を担当する部署はどこになりますか。

町長

担当課である生涯学習推進課を中心に文化レクリエーション課、学校教育課、子ども未来課が協力連携しながら、東川町学社連携推進協議会などを活用し、読書活動を推進する現場で従事されている方々にも参画いただき、年度内の計画の策定を目指します。

近年の情報メディアの普及発達や生活の多様化などもふまえて、画餅的な計画でなく実現可能な具体的行動指針などを盛り込みます。

再質問

①現在は、司書、学校司書、司書教諭、ボランティアらの現場の方々での知識の共有化や、問題点の協議などをする連絡会議が定期的に行われていませんが、策定のための組織はそれも兼ねますか。

さらに、策定した計画を評価・点検することも必要ではありませんか。

②現場の方々には最新の知識や技術の向上が必要ですが、予算やシフト勤務を考慮した研修計画を充実してください。

町長

①せんとぴゅあⅡができたときに、連携会議を開いてくださいと言っていましたが、確認します。

評価・点検は年に1回にこだわらず必要ではないかと思います。

②予算がないとは聞いておらず、研修の機会があれば積極的に参加してもらいたい。

文化レクリエーション課長

①連携会議はまだ開催できていません。

協議会発足もふまえ学校教育課とも連携していきます。

②せんとぴゅあⅡでは予算の問題はなく、シフトも調整して参加しています。

再々質問

パート的な短時間勤務の方についても研修参加が必要です。

外部研修への参加が難しければ、講師を招く内部研修を開くなど参加しやすい工夫をしてください。

町長

図書ボランティアの方も含めて研修参加してもらえるような方法を考えたいと思います。

読書週間ポスター

一般質問

問 保育士確保に特別奨学金を
答 子育て支援員などの活用含め検討

鶴間　松彦

質問

町の人口増加に伴い保育士確保が緊急の課題ですが、今年3月～4月の幼児センターにおける保育士の退職、採用状況はどうなっていますか。

子ども未来課長

退職は3月に臨時職員4名、採用は4月にフルタイムの臨時職員1名、短時間職員1名、8月から夕方のみ1名、復職の職員1名です。

質問

待機児童が6名ぐらいいると聞いており、近隣自治体での広域保育で対応しているとも聞いています。

保育士不足について、ハローワークによると募集217名に対し求職者が93名、有効求人倍率2・33倍という厳しい状況で、求職者が希望する月例賃金は平均して17万9000円だそうです。

幼児センターの募集では初任給は16万円で、正職員・臨時職員も含めた抜本的な改定の必要があるのでは。

町長

月額17万9000円を年額にすると214万8000円ですが、町では手当を含めると225万8000円です。

こまくさ保育園と比較して年収ではほぼ同等で、給料月額だけで対応すると正職員よりも月額が高くなる心配もあるので、年額で見て10月からの保育料無償化の中で考えていく必要があります。

質問

保育士不足は賃金の問題だけでなく、少子化のため保育士をめざす学生も減っており、保育士専用の給付型奨学金制度を創設してはどうですか。

町長

子育て支援の資格をもつ方に広く活躍していただくことを考えていますが、子育てを終えた方が専門学校で資格取得することに対しての給付型奨学金など検討したいと思います。

問 自治振興区設置後の状況は
答 定着には時間必要

質問

平成27年12月制定の「東川町地域自治振興区の設置に関する条例」から4年経過した現状の評価についてお聞きします。

町長

行政区の再編は、半世紀にわたり議論を重ね自治振興区を作りましたが、定着には時間がかかると思います。

行政が自治振興区と連携を取りつつ問題を出し議論を重ねていきます。

質問

議事録では今までの町内会は任意の団体であると説明されています。

「東川町地域自治振興区の区域を定める規則」によると「自治振興会の中に班を置くことができる」とあり、班名と住所が示され、町内会とは書いていませんが、班は公のものなのでしょうか。

町民は各自治振興区に入っていることになりますが、下部組織はなく、任意団体の町内会に事業をお願いしている点で矛盾や疑問も出ています。

一度、意見を集約して見直す場を設けませんか。

町長

班はたまたま任意組織である町内会と一緒になっているということで、公に準ずるものと解釈して良いのでは。

2ヶ月に1回のコミュニティ推進会議に年1度町内会も連名で開催するとか、町内会でも役場を呼んでいただくなど、色々な問題があれば意見・情報交換をしながら良い方向を目指すのが福祉の基本だと思います。

一般質問

問 若者向け住宅の建設は

答 「第3期東川町住生活基本計画」に策定

山家　祥幸

質問

町は昭和60年に写真の町宣言をし、多岐にわたる政策から人口増加につながり、飲食店・カフェ等数多く出店し、多くの若者が街を歩いている姿は街が生き生きとしていると来町者から言われます。

基幹産業である木工家具や食品加工会社など多くの従業員が旭川から通勤しています。

若者と話す機会があり意見交換をしたところ、東川町に住みたいが旭川より家賃が高く入居できないとのことです。

若い労働者が町内に住むことにより、スポーツ活動・コミュニティ活動が盛んになり、更なる元気の源が出来ると思います。

若者の収入は限られており、家賃が3万円程度で入居できる公営住宅の建設によって、若者の定住を一層充実させることになると思いますが町長の所見を伺います。

町長

町にある企業などには旭川市などから通勤している方々がいます。

町に移住することは人口増による消費の純増など町の活力向上に大きく貢献するものです。

若者向け住宅の建設は、単身者住宅型・家族世帯型の二つがあり家賃はその住宅型の相違によって決まります。

家賃は町営・公営住宅の家賃決定と同じように入居者の収入状況も視野に入れたものが必要と思います。

平成30年3月に「第3期東川町住生活基本計画」を策定しており、若者向け住宅は盛り込まれていますので、町内企業に勤務する方々の意向調査を実施し、具現化させていきます。

来年から始まる「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の中でも単身者を含む若者世帯の住宅整備を検討します。

再質問

現在特定公共賃貸住宅の単身者住宅は2棟20室ありますがいつも満室です。

活気あふれる町を持続するためにも若者の定住が不可欠です。

若者が安心して、家賃が3万円以下で入居できるように、合わせて家族型住宅も5万円以下で入居出来る住宅をいつ建設するのか、町長の考えを聞かせてください。

町長

住宅建設には資金が必要であり資金回収をどうしたらいいか、福祉的な視点と、経営的な視点でも考えなければなりません。

若者向け住宅を来年度から3～4棟作るが単身者向けとは限りません。

地方創生計画の中で低家賃住宅が具現化できないか、ここ1年・2年になるかわかりませんが国の状況を踏まえて考えていきます。

単身者公営住宅

一般質問

問 全国学力学習状況調査の結果は

答 小学校は3%上回り、中学校は全国平均

安原　芳博

（一問一答方式）

質問

4月18日に行われた全国小学6年生、中学3年生の全国学力学習状況調査での東川の結果状況について伺います。

教育長代理

今年度の全国学力学習状況調査は、小学生が国語と算数の2科目、中学生が国語と数学、英語の3科目となっています。

9月末までには市町村毎に内容を分析されたデータが届くことにはなっており、10月の広報で小中学校別に調査結果を報告する予定です。

現在の時点でわかる範囲を申し上げますと、小学校平均は全国平均と比較して3%前後上回っています。

中学校では全国平均とほぼ同様の結果となっています。

今後も小中学校で行っている地域未来塾や、ゆめスクールなど、各学校と連携し、子どもたちの学力向上に努めます。

質問

教科毎の正答率は出ていますか。

教育長代理

町の小学校の国語は67%、算数69%、2教科の平均が68%になっています。（小数点以下略）

全国平均は、国語が63%、算数が66%、2教科平均が65%になるので、全国との比較で3%上回っています。

中学校は、国語73%、数学59%、英語56%、3教科平均が62%です。

全国平均は国語73%、数学60%、英語56%、3教科平均全国は63%です。

数学は、応用の方が若干弱い結果になっています。

東川中学校の教室

質問

町には、CIR（国際交流員）、ALT（外国語指導助手）、日本語学校もあり、子どもにとっても有益だと思います。

研究開発学校に指定されて今年で3年目ということで、子どもたちも肌で感じながらの教育を受けていると思います。

小学生のプログラミングの教科化が行われるのは来年度からですか。

教育長代理

プログラミングに関しては、検討段階で、いつから実施するかは引き続き検討していきます。

東川小学校の教室

一般質問

問 保育士不足、待機児童問題は

答 職場環境の改善、待遇改善を検討

杉本　岳大

質問

現在、幼児センターでは保育士が不足し、待機児童が出ています。

保育士の離職の原因の一つとして、給与等の待遇が旭川市等にある民間保育所と比べ劣っていると考えます。

保育士の不足は社会問題となり、保育士が不足していた千葉県松戸市が問題解決に取り組む先進的な施策として「松戸手当」を作り、市が直接、保育士に月4万5000円から7万2000円の手当を支給し、保育士の待遇改善を図り保育士不足を解消、待機児童ゼロを達成しています。

東川町でもこれを参考に保育士に別途手当てを支給する「東川手当」を作ることはできませんか。

町長

保育士の待遇については、民間保育施設と比較しても勤務年数を重ねれば、待遇面に差はないと考えています。

自治体が運営する保育園では、独自に手当てを支給することは困難です。

町では、子育て支援員の配置の充実、町民を対象に保育士資格の取得の支援、幼児センター内部の多忙な事務業務と保育業務を区分化し、保育業務に専念できるよう職場環境の改善に努めます。

幼児センター保育の様子

再質問

①職員の待遇について、勤務年数を重ねればとの答弁がありましたが、具体的に何年勤務すれば、待遇が改善されるのか、またその待遇とはいくらくらいの年収を想定していますか。

②自治体が運営する保育園は独自手当を支給することが難しいとあるがなぜですか。

③町が保育士不足の解消するためのこれからの施策により、待機児童がいつ頃解消できる見通しを立てていますか。

町長

①保育士職員は毎年昇給するので、勤続5年程度で年収250万円を見込んでおり、民間の保育施設と比べても見劣りしません。

②町の職員であるから独自に手当を支給することは難しい。

嘱託職員に対しては、待遇に格差の無いよう職員に準じた待遇になるようにしたい。

③必要最小限の人数で運営しているので、待機児童の解消は、他の保育施設にも補ってもらうよう考えています。

再々質問

①民間の保育園であれば保育士の手当を町で出すことはできますか。

②待機児童問題、幼児センターの諸課題に対して、町民に向けて広報誌等で考えを表明することはできますか。

町長

①例えば、民間のこまくさ保育園に町から補助を出して、保育園が保育士に手当を出すことは問題ないと思います。

幼児センターの保育士には手当というより基本給を上げることが一番であると思います。

②考えを示す機会として、10月からの保育所の無償化の件も含め、来年の3月までに今後の財政負担等の計画も議会に示し、町民にお知らせすることが良いと思います。

（令和元年９月10日～13日）

議　決　の　内　容	結　果
・原案のとおり認定 ・　〃 ・　〃	原案認定 〃 〃
・66,895千円を増額し、総額9,000,303千円とする ・増額なしとし、総額184,300千円とする ・990千円を増額し、総額453,490千円とする	原案可決 〃 〃
・住民票等への旧氏の記載が可能となる法令の公布に伴い旧氏でも印鑑登録が可能とする改正 ・ひがしかわ株主制度（ふるさと納税）により実施する事業の区分の改正 ・幼児教育・保育の無償化に関する法令の改正に伴い関係する条例の改正 ・　〃 ・　〃 ・　〃	原案可決 〃 〃 〃 〃 〃
・任期満了に伴う宇佐見昇氏の選任（再任） ・林万里氏の任期満了に伴う杉山昌次氏の任命（新任） ・任期満了に伴う荒井一洋氏の任命（再任）	原案同意 〃 〃
・第一地域自治振興区の新栄町内会地区一部区域の住居表示の方法を街区方式に定める ・かねてより交流のあるロシア連邦サハリン州アニワ市と姉妹提携を締結	原案可決 〃
・地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づく報告 ・北７線道路改良工事１工区請負契約（契約金額117,007,000円） 北７線道路改良工事２工区請負契約（契約金額95,285,000円）	報告済 〃
・選挙管理委員に、澤田久美子氏、坂井直志氏、岩田和子氏、西川宗孝氏、補充員に、粟飯原順二氏、大城進氏、平田久美子氏、和田佳子氏を選挙により決定	当　選
・東川町議会改革等特別委員会委員長より、調査活動の結果について報告	報告済
・総務文教・産業建設・議会運営の各委員長からの申し出 ・令和元年度上川管内町村議会議員研修会に全議員を派遣する	原案可決 〃

第３回定例会の議案審議結果

区　分	議　件　名
決算認定	・平成30年度　東川町一般会計歳入歳出決算認定について ・平成30年度　東川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について ・平成30年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計歳入歳出決算認定について
補正予算	・令和元年度　東川町一般会計補正予算（第４号）について ・令和元年度　東川町公共下水道事業特別会計補正予算（第２号）について ・令和元年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第１号）について
条　例	・東川町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・「写真の町」ひがしかわ株主条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町幼児センター条例の一部を改正する条例の制定について
人事案件	・東川町固定資産評価審査委員会委員の選任について ・東川町教育委員会教育長の任命について ・東川町教育委員会委員の任命について
その他案件	・住居表示を実施すべき区域及び当該区域の住居表示の方法について ・ロシア連邦サハリン州アニワ市との姉妹都市提携について
報　告	・平成30年度東川町一般会計及び特別会計歳入歳出決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について ・専決処分の報告について（工事請負契約の変更について）
選　挙	・東川町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
調査報告	・東川町議会改革等特別委員会の調査活動報告について
その他	・閉会中の所管事務等の調査の申し出 ・議員派遣について

特集

町民と議会の意見交換会

開催日　令和元年７月20日　午後６時30分

議長挨拶

町民と議会の意見交換会に、参加頂きありがとうございました。

本年は、任期満了に伴う議会議員選挙が行われ、新たな議会構成となり、議会・議員の役割が注目されています。

今期においても、議会改革を進めるため議会改革等特別委員会を設置して様々な課題について議論を深めています。

平成30年に引き続き、町民と議会との意見交換会を開催しました。意見交換会の目指す所は、町民と共に歩む議会の実現であり、そのためには情報の共有と町民の参加を欠かすことはできません。

意見交換会に足を運んでくれた人々の評価や励ましの声もたくさん頂き、試行錯誤を重ねながらもこの声に誠実に応えていきます。

意見交換会や各種団体との懇談会、グループやサークルなどあらゆる機会を生かし、議会の広報機能を充実発展させながら町民皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

意見交換会において即答しきれなかった内容については町からの回答として掲載しています。

❶自治振興会・町内会について

問 自治振興会の下に町内会がありますが、仕組みに何か無理があるのではないかと思います。

町内会統合を議員が主導して再編するつもりはありませんか。

当時、問題が内在していることがわかっている状態で、制度移行した経緯があります。

移行後にフォローしていく話になっていたと思いますが、どうなっていますか。

議 自治振興会の役員や関係者のご意見を伺いながら問題点を整理し、行政に働きかけていくことは必要だと考えています。

町 公共といわれるものを「官」だけがすべて担うのではなく、地域課題を地域自治組織と町が共に担い、社会全体で住民を支えるために自治振興会があります。

隣近所の助け合いなど身近なコミュニティとして町内会の存在意義もあります。

町内会の統廃合などは自主的に行うものであり、要望や必要に応じて町が支援するのが原則ととらえています。

毎年４月にコミュニティ推進会議で説明する町の施策などは、広報などに掲載することとなっておりますが、もし、自治振興会からの要望があれば町からご説明に伺うこととしています。

❷写真の町としての町内事業・広報について

問 写真文化首都宣言をしてから写真の町として町民向けの事業・広報が足りないのではないですか。

議員の意見をお聞きします。

議 写真の町事業自体が対外的なものであり、懸

念されていることも理解できます。

町民の方からボランティア参加もいただきながら実行しており、東川町としてもう少し底上げをするような対応も必要と思います。

議 町の活動は小学校の授業などがあります。

文化ギャラリーの歴代受賞写真など価値あるものを簡単に見られて親しめるように働きかけます。

❸未来チャレンジ活動支援事業（チャレンジ予算）について

問 チャレンジ予算の内容と手続きの窓口はどこですか。

議 町の活性化に資する賑わいを作るようなイベントなどを開催する場合に補助金を出します。

申請方式なので活性化に資するかは相談になります。

チャレンジ予算で自分が考えていることに関係するものがあれば担当（産業振興課・東川スタイル課）にお問い合わせください。

町 8月の広報で事業内容を紹介しています。

❹意見交換会周知について

問 町民と議会の意見交換会の開催は、広報に載せて全世帯に知られるようにすべきではないですか。

議 今回は締め切りに間に合いませんでした。

新聞折込や防災無線、町ホームページのトピックス、広報配付時の別紙行政情報で周知に努めましたが、不備があったことをお詫びします。

❺移住者へのレクチャー

問 水や環境が良いと移住者が増えていますが、環境に配慮した生活をしないと天然水では暮らせなくなると伝えて、町民意識、町民ポリシーを積み重ね、町のクオリティを保つべきではありませんか。

町 近年、多くのテレビ・雑誌・SNSなどで、美味しい水について取り上げていただいておりますが、水道代が無料、水が使い放題など、生活の一遍だけを取り上げて報道されていることもあることから、誤解を招くような表現があることを懸念しております。

町は大雪山国立公園の領域にあり、景色・景観といった自然環境に恵まれており、天然の恵みを受けて生活していることや、町の価値について十分説明し、移住を検討していただいております。

今後も、移住者に誤解を招かないよう、移住希望者のためのサイトの立ち上げを検討しております。

このサイトでは、自然環境を守るために、町民が意識することはもちろん、町内会組織への加入のお願いなど、事前に告知しておくべき事項を詳細に提示する予定となっています。

❻七色の噴水について

問 忠別ダムふくろう池の形が見える高さのある建物がなく、虹が見えるのは観光客が来る日中ではありません。

熊出没の注意喚起や熊が近寄らない対策をしていますか。

トイレがありますがシャッターが閉まっていました。

議 町民への告知、説明が足りないと町に伝えています。

議会もそうですが、情報を丁寧にお伝えしていきたいと思います。

町 七色の噴水は源泉から湧き出した大雪旭岳源水を高低差を利用して導くことで、噴水が上がり太陽光線で虹がかかる自然の力を体験できる施設です。

トイレは、5月上旬から10月末までの午前8時から午後4時頃を基本として一般開放されています。

虹が見られる時間は、太陽を背にし、太陽高度によって変動します。

未来を担う子どもたちに雄大な自然を感じて欲しいと、町制施行60周年記念事業の1つとして整備されたものです。

町の新名所として、ホームページ等を通じPRを図っていきます。

❼子育て環境について

問 ももんがの現状や子育て環境をふまえて保育園の整備について議員の中で話し合われていますか。

議 交付金で元の文化交流館を改装し、こまくさ保育園を移転して3歳未満児の受け入れ人数を増やすことを議会で承認しています。

具体的な間取りなど調整中なので、もう少しお待ちください。

問 幼児センターの先生が減っており、子育て支援センターにまでも影響が出ているようで心配です。

子育て支援員という研修制度を活用するなどし、早急な対策をしてもらえませんか。

議 幼児センターの人員については、総務文教常任委員会でも常に予算を増やしてほしいと要請しています。

俸給については今年度上がった実績もありますが、待遇改善なども含めて対応していかなければならないと考えています。

支援員という制度の

活用などについても常任委員会の所管事務調査という形で取り組んでいきます。

❽子どもの遊び場について

問 雨や雪の日に子どもが室内で遊べる場所がほとんどなく、室内遊具施設がほしい。

大人も子どもと一緒に運動できる施設があると良いと思います。

議 以前せんとぴゅあIの旧体育館を児童館にという要望を出しましたが、町内に施設が足りないことから実現しませんでした。

皆さんからの意見を聞き、調査していきながら、引き続き議会でも要望していきます。

❾防災無線について

問 防災無線の設置を何回か要望していますが進捗状況はどのようになっていますか。

町 2022年12月以降、現在使用しているアナログ方式の個別受信機が使用できなくなるため、次期システムを検討中です。

❿地域おこし協力隊について

問 地域おこし協力隊員が非常に多くいます。

任期は3年ということですが、任期終了後町内に定住できていないケースが多い印象があります。

協力隊員の給与額と、国と町との負担比率を教えてください。

町 町には現在、約40名の地域おこし協力隊員が在籍しています。

今までに任期3年を終了した人が13名、うち町内に自立定住された方は9名です。

協力隊員の任務及び業務は様々で、本町の場合、地域振興や特色ある事業の推進のために必要な業務を明確にした上で募集を行い赴任してもらっています。

役場の事務補助業務を行う臨時職員とは異なり、指定した業務に適した資格や経験を有する協力隊員が赴任する場合がほとんどです。

任期3年という条件は募集及び赴任時に説明しており、基本的に任期終了後の継続雇用はせず、3年後の自立を目指して任期中から準備を行うよう助言、協力を行っています。

協力隊員に係る経費は、年額で人件費200万円（最大250万円）、活動費を含む物件費200万円（人件費が250万円の場合は150万円）、計400万円が国からの特別交付税により全額交付される仕組みになっています。

⓫町の財政運営について

問 東川町財政運営計画で、令和4年までの実質公債比率は14％でずっと横ばいになっています。

23年前の監査役も、財政健全化に向けた一層の努力が望まれると報告していたのに、どう取り組みしているのかが見えません。

13年前につくられた「東川町財政改革大綱」のように、取り組みをわかりやすく知らせてください。

議 町民の皆さんからご指摘を受けたり、ご心配をいただいていることを受けて、議会からも町に働きかけ、東川版の財政白書が発行される予定です。

⓬株式会社東川振興公社について

問 赤字が続いているキトウシ高原ホテルについてどう考えていますか。

議 議会としても検討課題と認識しています。

町 高原ホテルは今後、施設の整備方針を検討することとしており、方向性が決まり次第、住民周知を図っていきます。

⓭地デジ8チャンネル（UHB）でのお知らせについて

問 地デジ8チャンネルに議会の情報も載せてほしいです。

議 今後、議会の情報についても掲載していきます。

⓮常任委員会等の傍聴について

問 常任委員会の傍聴は3日前までに連絡が必要だと言われました。

常任委員会や全員協議会を傍聴できることを知らない人が多いので、もっと周知してくれませんか。

議 内容により全てを傍聴できるとは限らないため、その都度傍聴の許可を取るのに時間が必要なことがありそうお答えしました。

⓯オリンピック・パラリンピックのホストタウンについて

問 東川町でどういう取り組みをするのですか。

議 ラトビアの選手団を受け入れる予定です。

たとえば音楽コンサートや高校生の相互交流や選手と町民との交流などを考えています。

国から50％の費用補助があります。

令和元年度　町民と議会の意見交換会アンケート集計結果

＜開催状況＞

出席者数	回答数	回答率
22	16	73%

問１．あなたの年齢は？

～20歳代	0	0%
30歳代	0	0%
40歳代	5	31%
50歳代	3	19%
60歳代	3	19%
70歳代～	5	31%
No Answer	0	0%
合　計	16	100%

問２．あなたの性別は？

男	11	69%
女	5	31%
No Answer	0	0%
合　計	16	100%

問３．あなたのお住まいの地域は？

第一地区	2	13%
第二地区	4	25%
第三地区	3	19%
西部地区	2	13%
中央地区	5	31%
No Answer	0	0%
合　計	16	100%

問４．この意見交換会の開催を何で知りましたか？

新聞折込チラシ	7	32%
ホームページ	2	9%
防災無線	2	9%
自治振興会（回覧等）	3	14%
知人や議員	6	27%
その他	2	9%
No Answer	0	0%
合　計	22	100%

（その他）
- せんとぴゅあⅡ
- 議員のフェイスブックで

問５．議会報告会の内容はわかりやすかったですか？

わかりやすい	6	35%
わかりにくい	3	18%
どちらでもない	8	47%
その他	0	0%
No Answer	0	0%
合　計	17	100%

問６．意見交換会の時間はどうでしたか？

短かった	11	69%
長かった	0	0%
ちょうど良い	4	25%
その他	0	0%
No Answer	1	6%
合　計	16	100%

- お母さん達が出席して意見を言えるよう昼間と夜間の２回開催して下さい。

問７．意見交換会の開催について、どう思われますか？

地区別に開催	3	17%
今後も開催	12	67%
開催の必要はない	0	0%
内容を見直す必要	0	0%
その他	0	0%
No Answer	3	17%
合　計	18	100%

- 多くの参加者、時間も多くしてほしい。

問８．意見交換会に対する感想・ご意見をお聞かせください。

- 質問を予め設定して効率的にすべき。
- ２班に分ける必要はない。
- 意見交換会はその都度開いてくれるといい。
- より多くの町民が参加できるように告知の方法を改善して頂きたいです。
- 町議のみなさまもご多忙のところ意見交換会を開催して下さってありがとうございました。
- 意見にもあったが広く町民に必ず周知を。
- みなさんがいろんな意見発言できてよかったがもっと議員さん各人が発言できるように配慮してほしい。
- 毎月でもやってもらっていいと思います。
- 今後も必要と思います。
- 時間不足が残念！
- 昼にも意見交換会を開催してほしい。（時間が足りない）
- 交換会の会場は１カ所の方が良い。
- 交換会の参加人数を多くする方法を考えたい。（交換会のみんなで）
- 意見を持っている人が出席されていると思いますので全員が発言できるよう司会役を決めて運営して頂きたい。
- 時間がなく質問が出来なかった事
  - ・織田コレクションの取得について
  - ・プライムタウンの策定について
  - ・幼児センター待機待ち児童について
  - ・キトウシホテルの改修について
  - ・キトウシ振興公社の人員配置について

問９．東川町議会に対するご意見・ご要望をお聞かせください。

- 議員の活動があまり見えない。
- 理事側に全て反対せよとは言わないが行政のチェックをきちんとしているのか疑問。
- 町民のニーズをどう受け止め、どうすくい上げてくれるのか具体的な結果や経過報告を広報とは別に細かく知りたい。
- 大きいハコ物だけではなく小さい針（人）に向けた町政を期待したい。
- 町民の要望を的確に。そしてこのことについて詳細に調べてほしい。東川町のポリシー｛教育について・町民として大好きな東川に住んでいくために心地よく暮らしていくために（水についてとか）｝について議会でもしっかり深めてほしい。
- 色々チャレンジして良い町になるように皆で考えていきましょう。
- 住民の声をどう吸収するか？どうその声を町政に生かすか？
- 全員協議会、常任委員会の傍聴が出来る事を積極的にPRして下さい。
- 一般質問内容は重複しないように。
- 一般質問される方は、質問事項について深掘りして行うとともに町に提案（自分の意見を）すること必要ではないでしょうか。

議会日誌

8月

2日　高校生国際交流写真フェスティバル開会式
　　写真甲子園2019　表彰式・閉会式
3日　第35回写真の町東川賞授賞式
3～4日　東川町国際写真フェスティバル・どんとこい祭り
7日　高校生国際交流写真フェスティバル閉会式
19日　3町議会議員交流会(東川町)
20日　全道議会広報研修会(札幌市)
21日　例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)
23日　中央部議会議長会定例会議(比布町)
27日　定例会前各常任委員会

写真甲子園

高校生国際交流写真フェスティバル

9月

2日　平成30年度決算監査講評
3日　第5回議会運営委員会
5日　第4回東川町議会改革等特別委員会
10日　東川町議会第3回定例会(1日目)
11～12日　常任委員会議案調査
13日　東川町議会第3回定例会(2日目)
18日　第1回臨時議会報編集特別委員会
　　アニワ市姉妹提携調印式
19日　例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)
27日　秋の交通安全祈願祭
　　第5回東川町議会改革等特別委員会
　　第2回臨時議会報編集特別委員会

10月

3日　議会報編集特別委員会(1回目)
5日　ひがしかわ株主総会2019
10日　議会報編集特別委員会(2回目)
11～12日　産業建設常任委員会所管事務等調査
　　(平取町、江別市、深川市)
17日　第6回東川町議会改革等特別委員会
　　議会報編集特別委員会(3回目)
17～18日　上川管内町村議会議長研修会(愛別町)
18日　中央部町等監査委員協議会研修会(東川町)
21日　例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)
21～25日　定例監査
29日　上川町村議会議員研修会(美瑛町)

株主総会植樹の様子